よくある質問 Q&A

Q-1　昨年の採用試験の受験者数や倍率を教えてください。

A-1　昨年９月に実施した採用試験の結果は下表のとおりです。

区分		募集人数	受験者数	一次試験合格者数	一次試験合格倍率	最終面接受験者数	最終面接合格者数	採用者数	合格倍率
一般事務職	上級	20	40	35	1.3	26	17	14	1.7
	中級		10	6		3	1	0	
	初級		9	6		4	2	2	
一般技術職（建築・土木・電気）	上級	1	6	5	1.6	3	2	2	1.5
	中級		－	－		－	－	－	
	初級		2	0		－	－	－	
保育士	区分なし	3	10	10	1.0	8	4	4	2.0
保健師	区分なし	1	4	4	1.0	3	1	1	3.0
社会福祉士	区分なし	1	5	5	1.0	3	1	1	3.0
精神保健福祉士	区分なし		1	1	1.0	1	0	0	－
学芸員	区分なし	1	－	－	－	－	－	－	－
建築基準適合判定資格者		1	－	－	－	－	－	－	－
一級建築士			－	－	－	－	－	－	－
二級建築士			－	－	－	－	－	－	－
土木施工管理技士			1	1	1.0	1	1	1	1.0
計		30	88	73	0.8	52	29	25	0.6

Q-2　職員の男女別の人数はどうなっていますか。

A-2　令和７年７月１日現在の職員数は、６９７人です。このうち、女性職員は３３１人（４７．５％）、男性職員は３６６人（５２．５％）です。３０歳未満の職員数は１２６人で、女性職員は７０人（５５．６％）、男性職員は５６人（４４．４％）です。

Q-3　新規採用職員の配属先は、どのように決まりますか。

A-3　一般事務職の新規採用職員は、採用試験申込書やエントリーシート、面接試験で聞き取った内容などを参考にしますが、市民の方と接する機会の多い窓口業務を行っている部署へ配属されることが多いです。専門職は、保有する資格等により関連する部署へ配属されます。

Q-4　採用後の配属部署の異動の周期や方法はどうなっていますか。

A-4　人事異動は、概ね４～５年を基本とし、性質の異なる部署を組織運営に支障のない範囲で配置替えをしながら人材育成を図るための「ジョブローテーション」を実施しています。なお、異動先等の希望を把握するため、毎年１２月に自己申告書を提出してもらい、人事配置等の参考にしています。